

心房細動のカテーテルアブレーション時における右肺静脈ペーシングによる横隔神経捕捉の有効性と安全性に関する検討

1. 研究の対象

2020年1月から当院で高周波を用いた初回の心房細動アブレーション治療を行った方

2. 研究目的・方法

心房細動に対するカテーテル心房細動アブレーション治療は広く効果が認められ、一般的な治療法として行われてきました。近年カテーテルアブレーション治療は著しい進歩を遂げており治療成績も向上していますが、少数例で手技合併症の報告もあります。その中に横隔神経障害という合併症があります。横隔神経は最大の呼吸筋である横隔膜の運動を司る神経で、心臓の側面を走行しています。

当科では右肺静脈を焼灼する前に電気刺激（以下、ペーシング）を入れることで横隔神経の走行位置を確認した上で、アブレーション治療を行い、それにより横隔神経傷害を未然に防ぐことが出来ると考えています。

今回、心房細動の患者さんに対する右肺静脈のペーシングによる横隔神経捕捉の有効性及び安全性について検討する目的でこの研究を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

右肺静脈ペーシングによる横隔神経捕捉の有無、胸部レントゲン検査結果

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

済生会熊本病院 循環器内科 七田茂輝（研究責任者）

住所 熊本市南区近見5丁目3番1号

電話番号 096-351-8000

以上